

## 【創世記第13章】

### 「ロトの選び」

人生の岐路に立たされ、自分の人生を自分で選ばなければならない時、あなただったらどうしますか？今日の箇所はアブラムと共に旅をしていた甥のロトがアブラムと分かれて歩むことになったという話です。ロトは家畜の事でアブラムの家族と争いが起こるので、「争いがないようにしてくれ。私たちは、親類同士のだから。～私から別れてくれないか。もしあなたが左に行けば、私は右に行こう。～」とアブラムに言われました。10節「ロトが目を上げてヨルダンの低地全体を見渡すと～どこもよく潤っていた。それで、ロトはそのヨルダンの低地全体を選び取り～」とあるのです。今までお世話になっていたロトは「まずおじさんがお選びください。」というべきではないでしょうか？またロトは目で見える繁栄を見てそれを選んでいきます。ここでもロトは大きな判断ミスをしています。ではどうすればよかったのでしょうか？全知全能全愛の主の聞くといひのです。

「その後、東のほうに移動した。こうして彼らは互いに別れた。」ロトはうまいことをしたとその時は思ったかもしれませんが、ところが、よく潤っていた「ヨルダンの低地は、主がソドムとゴモラを滅ぼされる以前」だったのです。19章を見ると、アブラムと別れた後のロトと家族の事が記されてあります。13節～「主はこの町を滅ぼすために、わたしたちを遣わされたのです。」「立ってこの場所から出て行きなさい。主がこの町を滅ぼそうとしておられるから。」「いのちがけで逃げなさい。うしろを振り返ってはいけな。この低地のどこでも立ち止まってはならない。山に逃げなさい。さもないと滅ぼされてしまう。」しかし、ロトの妻は、言いつけに背いて振り返ったので、塩の柱になってしまいました。その後娘はとんでもないことを思いつき、実行してしまいます。「さあ、お父さんに酒を飲ませ、いっしょに寝て、お父さんによって子孫を残しましょう。」

ロトがアブラムと行動を共にしている間は守られました。しかし独立して、自分の判断で生き始めた時から、少しずつずれてしまいました。今までの神が共に居る軌道から大きくずれてしまいました。

一方アブラムはロトと離れていよいよ信仰の父として、神から召しを受け、「さあ、目を上げて、あなたがいる所から北と南、東と西を見渡しなさい。わたしは、あなたが見渡しているこの地全部を永久にあなたとあなたの子孫とに与えよう。」「わたしは、あなたの子孫を地のちりのようにならせる。～立って、その地を縦と横に歩き回りなさい。わたしがあなたに、その地を与えるのだから。」と素晴らしい約束を得ています。

ロトのようにではなく、アブラムのように神の召命を重んじ、時に弱さゆえに迷うことも罪を犯すこともあるかもしれませんが、どこまでも悔い改めて主に従い、主のみ声に聞き従う者として、主を愛して前進してゆきましょう。私たちの選択は後々まで影響のある重大な結果をもたらします。ぶどうの木にしっかりつながり、教会生活の中で、御心の信仰生活ができますように！

「しかし、最後まで耐え忍ぶ者は救われます。」マタイ24:13



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会

Church of the **F**irstborn who are **R**egistered in **H**eaven

主任牧師：イエス・キリスト

牧師：ダニエル大重

## SHILOAM

【シロアム：遣わされた者】

2014.8.24 No.803

新年のみ言葉

いつも主にあって喜びに満たされなさい。

もう一度言います。喜びなさい。

ピリピ書4章4節

神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。

ヨハネ3：16



臺灣高速鐵路 300Km/h

主の十字架クリスチャンセンター(TLCCC)

The Lord's Cross Christian Center

<http://astone-blog.jp/tlcccrh/>

